

平成25年度 中魚・十日町社会科部会 活動報告

部長 涌井 芳郎

1 研修テーマ

○資料活用力の育成（教材開発を通して）

2 活動内容

地元企業「きものブレイン（株）（十日町市）」の見学

(1) 日 時 平成25年8月23日(金) 参加者 37名

(2) ねらい

独自の経営理念のもと事業を展開し成果を挙げている企業を訪問し、実際に事業所の人から説明を聞いたり、働く人たちの様子を見たりしながら社会科の教材開発に生かす。

(3) 見学

①副社長 岡元眞弓氏から会社の経営理念や業務内容の説明を受ける

- ・ 主な事業内容はきもの総合加工、きものリサイクル、きもの販売、和装品企画製造超撥水ドリームケア、インクジェット染色などを全社員が喜びを分かち合える全員参加型の経営で取り組んでいる。また、障がい者を積極的に雇用し、全社員の1割程度を占めるに至っている。その実績が評価され新聞などマスコミにも取り上げられる。

②見学

- ・ 社員の丁寧な説明を受けながら見学。全国から送られてくるきものを各分担で丁寧に扱っていた。しみぬきや色の直し、破れ補強などなどきものに関するあらゆるメンテナンスを社員一人一人が真剣な表情で取り組んでいた。障がい者は障がいの種類や程度に応じた仕事に取り組み、自分を存分に生かしている様子を見て取ることができた。

3 成果と課題

- (1) 第2回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞を受賞し先進的な取組を続ける地元企業を見学させてもらい、社会科の授業のみならず福祉教育や総合学習にも取り入れられる中身の濃い研修となった。参加者は教材化への意欲をもつことができた。
- (2) 障がい者がいきいきと働いている様子を見て、「共に生きる」姿を肌で感じることができた。このことは参加者全員の大きな学びとなった。
- (3) 課題として、せっかく得難い見学をさせてもらったのだから、参加者になんらかの感想を書いてもらってまとめればよかった。次年度は考慮していく。